

令和7年度東京都自立支援協議会活動状況

第9期 東京都自立支援協議会委員名簿（令和7年度）

令和8年1月5日現在

番号	役職	名前	所属	番号	役職	名前	所属
1	副会長	秋元 妙美	C I L ちょうふ 代表	11		仲田 素直	社会福祉法人東京緑新会 ケアコミュニティみちふの森 所長
2		荒木 浩	社会福祉法人多摩棕櫚亭協会 障害者就業・生活支援センター オープンナー 施設長	12		中山 佳子	障害者施策推進部 地域生活支援課長
3	会長	石渡 和実	東洋英和女学院大学 名誉教授	13		西田 伸一	公益社団法人東京都医師会 理事
4		大谷 由実子	台東区福祉部障害福祉課総合相談担当係長	14		能松 七海	特定非営利活動法人自立生活センター C I L ふちゅう
5		岡部 正文	社会福祉法人ソラティオ 理事長	15		平沢 智子	昭島市保健福祉部障害福祉課長
6		久保 玄	社会福祉法人原町成年寮 サザンクロスかつしか 統括	16		福田 雄亮	世田谷区烏山保健福祉センター 保健福祉課障害支援担当係長
7		小林 可奈	特定非営利活動法人多摩草むらの会 パソコンサロン夢像	17		藤井 亘	特定非営利活動法人クローバー 理事長
8		櫻庭 可奈子	目黒区健康福祉部障害施策推進課長	18		村中 友江	社会福祉法人原町成年寮 生活介護事業所 シャングリラ
9		高柳 貴大	株式会社ミヤビカ 障がい者就労支援B型施設 愛輪の里 雅	19		村山 雅子	一般都民
10	副会長	高山 由美子	ルーテル学院大学 総合人間学部 教授	20	副会長	森山 瑞江	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 副理事長

※五十音順

活動のまとめ

【第9期テーマ(令和7・8年度)】

合理的配慮により当事者参画を推し進め、都全体の相談支援体制拡充のため協議会間の連携強化を図る。

令和7年度活動方針：当事者が望む地域生活を支える相談支援とは何かを考える。

第1回本会議 6月13日（金）13時30分から16時30分まで
 <報告事項>
 ○「令和6年度版 東京都内の自立支援協議会の動向」調査結果について
 <協議事項>
 (1)東京都自立支援協議会の第9期テーマ及び活動方針(案)等について
 (2)自立支援協議会担当者連絡会の活用について
 (3)令和7年度地域自立支援協議会交流会の企画について

第2回本会議 2月4日（水）13時30分から16時30分まで
 <報告事項>
 ○令和7年度東京都自立支援協議会活動報告
 (1)令和7年度地域自立支援協議会交流会の開催報告
 (2)令和7年度東京都自立支援協議会セミナーの開催報告
 (3)令和7年度自立支援協議会担当者連絡会の開催について
 (4)「令和7年度版 東京都内の自立支援協議会の動向」(動向集)の報告
 ○東京都からの報告
 (1)令和7年度厚生労働省障害者地域生活支援体制整備事業「全国ブロック会議」の報告
 (2)令和7年度東京都障害者総合支援法等関連研修に関する検討報告
 (3)令和7年度東京都障害者相談支援体制整備事業 基幹相談支援センター 座学研修会・意見交換会・個別相談会
 <協議事項>
 (1)令和7年度東京都自立支援協議会活動の振り返り
 (2)令和8年度東京都自立支援協議会に向けた意見交換について

協議会活性化グループ・相談支援体制推進グループ

地域協議会の情報把握・共有

地域自立支援協議会交流会
 日時：8月26日（火）10時から16時30分
 会場：東京都社会福祉保健医療研修センター
 参加者：89名(17区14市)
 内容
 (1)話題提起・トークセッション
 ・東京都自立支援協議会
 (2)グループ討議
 13グループに分かれて意見交換
 希望テーマによるグループ分け
 (3)全体発表
 各協議会が当日の討議を自らの自治体でどう活かすかを中心に発表

自立支援協議会担当者連絡会

第1回
 日時：7月10日（木）
 14時00分から16時15分まで
 内容
 ・基調講演(厚生労働省)
 ・報告事項(東京都自立支援協議会)
 ・取組発表(世田谷区、小平市)
 第2回
 日時：10月15日（水）
 14時00分から16時00分まで
 内容
 ・取組発表と意見交換(狛江市、立川市、武蔵野市、三鷹市)

東京の協議会活動の普及啓発

東京都自立支援協議会セミナー
 日時：12月12日（金）
 13時20分から16時05分まで
 会場：東京都庁第一本庁舎5階大会議場
 参加者：会場参加178名、動画視聴429名
 （申込者数）
 【第1部】基調講演
 (特非)日本相談支援専門員協会名誉顧問
 福岡 寿 氏
 【第2部】パネルディスカッション
 障害当事者・支援者による発表
 ・当事者 高橋 薫 氏
 ・支援者 藤井 亘 氏
 ・当事者 富士根 氏(仮名)
 ・支援者 中村 美幸 氏

地域協議会の情報共有・発信

東京都内の自立支援協議会の動向
 編集方針
 (1)継続して行っている設問項目については、同様のかたちで引き続き行っていくとする。
 (2)毎年、都協議会や交流会等での討議結果を参考にしながら作成している設問については、グループ討議により、今年度の活動方針に沿った設問を設けていく。
 (3)これまで行ってきた当事者参画を問う設問と協議会活性化を問う設問について、ブラッシュアップを進めていく。
 (4)担当者連絡会や交流会、セミナーなどで取り上げた「地域自立支援協議会における先進事例」や「障害当事者の発表要旨」をコラムとして掲載していく。

地域自立支援協議交流会の開催報告

1 開催概要

- (1) 日 時 令和 7 年 8 月 26 日（火曜日）午前 10 時から午後 4 時 30 分
- (2) 会 場 東京都社会福祉保健医療研修センター
- (3) 参加者 17 区 14 市から 89 名（申込者 96 名）、都協議会委員 18 名、事務局・連絡調整会議委員等 21 名

2 目 的

都内の地域自立支援協議会関係者の交流の場を設け、活動状況等に関する情報交換を実施し、各協議会の円滑な運営や活動の活性化を図る。

3 プログラム及び今年度の特徴

- (1) 話題提起
東京都自立支援協議会からの情報発信
（3 名の委員がそれぞれの立場から相談支援について発信）
トークセッション「当事者が望む地域生活を支える相談支援とは何か」
- (2) 13 グループに分かれてのグループ討議（事前希望テーマによるグループ分け）
- (3) 全体会（各区市町村ごとの発表）
※参加者から「グループ討議の時間を長くしてほしい」との声を受け、午前 10 時から午後 4 時 30 分までの終日開催に変更
※グループ討議では、参加者が希望したテーマに分かれ、意見交換を実施
※全体会は、各協議会が当日の討議を自らの自治体でどう活かすかを中心に発表

4 参加者属性及び満足度（アンケート回収数：80）

- (1) 参加回数
初参加 67%、2 回目 17%、3 回目以上 13%
- (2) 申込理由
他自治体との交流・情報交換 58%、知識の再確認 43%
- (3) 話題提起の満足度
非常に参考になった 52%、参考になった 44%（肯定的評価 96%）
- (4) グループ討議の満足度
非常に参考になった 46%、参考になった 48%（肯定的評価 94%）

5 参加者の声

- ・相談支援と意思決定支援について、前向きなとらえ方ができた。
- ・意思決定支援の難しさを改めて感じた。
- ・当事者の話が聞けて良かった。グループ討議の人数がちょうどよかった。
- ・他の自治体の様子が分かった。
- ・自治体に持ち帰りたいことをまとめるために時間が足りないと感じた。
- ・特に教育との連携等の課題は、全都的な課題だと思います。担当者連絡会では、好事例の紹介にとどまらず、事務局間の意見交換ができる機会があると良い。

6 今後の展望

- ・グループ討議の時間や発表方法を工夫し、より内容を充実させる。
- ・当事者参画や自治体間の情報共有の強化を目指す。

自立支援協議会担当者連絡会の開催報告

1 目 的

東京都自立支援協議会事務局から、時宜にかなう話題提供を行い、地域の協議会担当者同士で協議会の先進的な取組み、円滑な運営方法や活性化するための方策等を情報共有できる機会を設けることで、地域自立支援協議会の活性化を促進する。

2 実施方法

WEB会議システム「Microsoft Teams」を用いて実施

3 開催概要

<第1回>

(1) 日 時

令和7年7月10日（木曜日） 午後2時から午後4時15まで

(2) 参加者

60名（16区14市1町）※東京都自立支援協議会委員9名が傍聴

(3) 内 容

基調講演「地域における障害児者の相談支援体制の整備の推進」（厚生労働省）

報告事項「令和6年度版動向集」（東京都自立支援協議会事務局）

取組発表「自立支援協議会の取組」（世田谷区・小平市）

(4) アンケート結果

非常に参考になった・参考になった 91%

(5) 今後活用できそうな取組・その他感想（自由意見）

- ・「地域生活支援拠点が担うべき機能」の変更について再確認できてよかった。
- ・当事者委員が参加する協議会の実施方法が参考になった。
- ・障害者総合支援法改正を踏まえた自立支援協議会の役割等の変更や東京都内の状況、他区市の取り組みが聞けて参考になりました。

<第2回>

(1) 日 時

令和7年10月15日（水曜日） 午後2時から午後4時まで

(2) 参加者

51名（13区12市）※東京都自立支援協議会委員6名

(3) 内 容

取組発表と意見交換：テーマ1「自立支援協議会の効果的な運営」（狛江市、立川市）

取組発表と意見交換：テーマ2「当事者参画の推進」（武蔵野市、三鷹市）

意見交換「地域自立支援協議会交流会で持ち帰ったものをどのように活用しているのか」

(4) アンケート結果

非常に参考になった・参考になった 89%

(5) 今後活用できそうな取組・その他感想（自由意見）

- ・各市の特色のある取り組みを知ることができました。また課題はおおむね同じであることもわかりました。今日聞いたことを参考に協議会や部会などすすめていくようにしたいと思います。
- ・今回初めて担当者連絡会に参加させていただき、他自治体の取り組みや課題を知ることができて大変参考になりました。当市では形式的な協議会になってしまっている傾向があるため、今回伺った内容も踏まえ、協議会のあり方を検討していきたいと考えております。
- ・当事者部会の仕組みや運営の仕方がとても参考になりました。
- ・どの自治体も抱えている課題は同じ中、どう課題に対してアプローチできるのか、交流会の小グループワークのようなセッションが、この連絡会にもあれば良いな、と思いました。

東京都自立支援協議会セミナーの開催報告

1 開催概要

- (1) 日 時 令和7年12月12日(金曜日)午後1時20分から午後4時5分
 (2) 会 場 東京都庁第一本庁舎5階大会議場
 (3) 参加者 会場参加 178名(うち都協議会関係者35名)
 動画視聴申込 429名
 (配信期間: 令和7年12月25日～令和8年1月15日(手話・字幕対応))
 動画視聴数 ※ () 内は手話版の視聴数再掲
 開会挨拶 276(8)、基調講演 389(5)、パネルディスカッション 334(2)

2 目 的

障害者総合支援法等における相談支援体制等、東京における共通課題や取組、協議会活動の活性化策などについて、東京都自立支援協議会本会議での検討等を踏まえた講演及びパネルディスカッションを実施することにより、広く関係者へ情報発信を行い、自立支援協議会活動の普及啓発を図る。

3 プログラム

【基調講演】

「相談支援の現在地とこれから～当事者の“こう暮らしたい”に寄り添う地域づくりを目指して～」
 福岡 寿 氏 (特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会 名誉顧問)

【パネルディスカッション】

パネリスト 当事者 高橋 薫 氏
 (豊島区障害者地域支援協議会委員、前東京都自立支援協議会委員)
 支援者 藤井 亘 氏 (特定非営利活動法人 クローバー 理事長)
 当事者 富士根 氏 (仮名)
 支援者 中村 美幸 氏 (中野区南部すこやか障害者相談支援事業所)
 コメンテーター 福岡 寿 氏
 コーディネーター 石渡 和実 氏 (都協議会会長)

4 参加者属性及び満足度(アンケート回収数: 会場参加129、動画視聴107)

(1) 参加回数

	初参加	2回目	3回目以上
会場参加	65%	11%	23%
動画視聴	72%	12%	16%

(2) 属性

	相談支援事業所	行政	協議会委員等関係者	当事者家族	当事者本人
会場参加	40%	13%	11%	12%	2%
動画視聴	49%	13%	7%	11%	4%

(3) 地域

	区部	市部	町村部	他道府県
会場参加	62%	36%	0%	2%
動画視聴	39%	50%	2%	9%

(4) セミナー情報入手経路・媒体

	都センター	区市町村	関係団体	協議会委員	HP	チラシ(紙)	メール(データ)
会場参加	39%	27%	11%	17%	2%	32%	40%
動画視聴	56%	22%	10%	10%	7%	37%	67%

(5) 満足度

	運営	基調講演	パネルディスカッション
会場参加	84%	90%	94%
動画視聴	83%	88%	80%

※運営の満足度は、会場参加の場合「受付・案内」について「スムーズだった」と評価した割合。

動画視聴の場合「配信の音声・映像」が「非常に良好」「良好」と評価した割合

※基調講演とパネルディスカッションの満足度は、「非常に参考になった」「参考になった」と評価した割合

5 参加者の声

(1) 基調講演

講師の話がユーモアに富み、支援の本質を伝えていた、支援者の率直な経験談が業務を振り返る機会となり、意識改革につながった等の声が多くあった。一方で、具体的な実践例や若手講師の登壇を望む声も見られた。

(2) パネルディスカッション

当事者と支援者双方のリアルな声が温かく伝わり、非常に参考になった等、当事者の生の声を直接聞いたことが高評価を受けた。一方で、質疑応答中心でディスカッション性が弱かったとの指摘もあった。

(3) 会場・運営

案内や受付対応がスムーズで、合理的配慮も徹底されていると評価された。空調や机の設置など設備面での改善要望はあげられた。パネリストによる待ち時間中のマリンバ演奏が好評であった。

6 要望の多かった今後聞いてみたいテーマ

(1) 地域生活支援の深化：地域共生社会の実現、重度障害者・高齢移行者への支援、地域事例紹介

(2) 制度・支援機関の連携強化：制度や地域間の連携、横断的ネットワーク構築への期待

(3) 人材育成・当事者の声の活用：次世代支援者育成、当事者発信の場づくり、当事者参加型プログラムへのニーズ

7 総括と今後の展望

- ・参加者の多くは現場の専門職で、新規参加者が約3分の2を占めた。
- ・東京都内全域及び都外からも参加があり、多様な視点から意見・要望が寄せられた。
- ・セミナー内容・運営ともに高い満足度を記録した。次回は実践的な地域事例紹介、分野連携、参加型プログラムの導入が期待される。

1 目的

東京都自立支援協議会の活動の一環として、各区市町村における地域自立支援協議会の活動状況等を把握し、調査結果を資料として供することで、各地域協議会の活動の促進を図るとともに、東京都自立支援協議会の活動とあわせて、都民に広く周知する。

2 方針

- (1) 継続して行っている設問項目については、同様のかたちで引き続き行っていくこととする。
- (2) 毎年、都協議会や交流会等での討議結果を参考にしながら作成している設問については、グループ討議により、今年度の活動方針に沿った設問を設けていく。
- (3) これまで行ってきた当事者参画を問う設問と協議会活性化を問う設問について、ブラッシュアップを進めていく。
- (4) 担当者連絡会や交流会、セミナーなどで取り上げた「地域自立支援協議会における先進事例」や「障害当事者の発表要旨」をコラムとして掲載していく。

3 内容

- (1) 地域自立支援協議会の基本情報（名称、設置年月、運営方法、組織図）
- (2) 地域自立支援協議会の委員（名簿、専門部会の状況、委員構成、当事者委員の参画状況）
- (3) 地域自立支援協議会の活動状況等
 - ア 地域自立支援協議会での協議事項
 - イ 地域自立支援協議会としての役割
 - ウ 地域自立支援協議会として把握している地域課題
- (4) 相談支援体制の整備状況等（基幹相談支援センター等の所数・機能、地域生活支援拠点等の整備状況・コーディネーターの配置、日中サービス支援型共同生活援助）
- (5) 地域自立支援協議会の活性化
- (6) 相談支援体制の拡充（新規）
- (7) コラム（4本程度を予定）

4 調査対象

都内全区市町村

5 基準日

令和8年3月31日

6 結果の公表

- (1) 冊子の発行
区市町村障害福祉主管課、都協議会関係者、各道府県政令市障害福祉主管課等に配布
- (2) 東京都心身障害(がい)者(しゃ)福(ふく)祉(し)センターホームページへの掲載
・冊子の掲載内容と同内容のものをホームページにも掲載する。
・各地域自立支援協議会のホームページリンクを一覧にして掲載する。
- (3) 発行時期（掲載時期）
令和8年6月（予定）

7 その他

都内全区市町村を対象とした調査票については、別添『「令和7年度版 東京都内の自立支援協議会の動向」調査票』を参照のこと。